令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　家　庭　　）　　学年（　　１　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている。」にどちらかといえば当てはまらない生徒が、１５％いた。

授業等の課題分析

毎回の授業で「ねらい」「ながれ」「まとめ」を明確にし、感想を書かせ理解度を確認しているが、学習内容は理解していても、記述することに不慣れな生徒が多い。定期考査でも思考・判断を問う問題において、正答率が低い。自分の考えを文章にして記述できるようにさせることが課題である。
小学校で学んだ基礎技能に個人差がある（ボタン付けやミシンの扱い方）ことも課題である。

目指す授業

自分の考えをまとめ、発表したり記述できるようにしたりする授業。
基礎技能を繰り返し学習させ身につけさせる授業。

授業改善のための具体的な方策

グループディスカッションやグループワークを実施し、能動的に考え発表できるようにする。
振り返りシートの「ねらい」を踏まえた感想が記述できるよう、指導する。
基礎技能を徹底させるため、技能テストを行う。

令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　家　庭　　）　　学年（　　２　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

「家庭の授業では、自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている。」にどちらかといえば当てはまらないと回答した生徒が３４％いた。

授業等の課題分析

衣生活分野においての作品製作では、サンプルを準備し進度をスモールステップにすることで、理解度も上がり、効率よく作業にあたれている。ただ、基礎技能の定着に個人差があることが課題である。また、振り返りシートは「ねらい」を踏まえ自分の考えを記述できるようにすることが課題である。

目指す授業

自分の考えをまとめ、発表したり記述できるようにしたりする授業。
基礎技能を繰り返し学習させ身につけさせる授業。
思考し課題を発見できるようにする授業。

授業改善のための具体的な方策

グループディスカッションやグループワークを実施し、能動的に考え発表できるようにする。
振り返りシートの「ねらい」を踏まえた感想が記述できるよう、指導する。
基礎技能を徹底させるため、技能テストを行う。
必ず考える時間を設け、自分の言葉で考えをまとめられるようにする。

令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　家　庭　　）　　学年（　　３　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

「家庭の授業では、自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている。」にどちらかといえば当てはまらないと回答した生徒が２１％いた。

授業等の課題分析

授業時数が限られるため。幼児分野の授業はオリジナルプリントを使用し学習したが、定期考査の結果は５割強であった。「幼児のおもちゃ」製作では、幼児への安全面を配慮したおもちゃを工夫し、基礎技能を生かし製作できている。

目指す授業

自分の考えをまとめ、発表したり記述できるようにしたりする授業。
ICT 教材を使用し、深い学びができるようにする授業。
持続可能な社会の実現のために、課題を見つけ、解決する判断力を実践の中から身に付けさせる授業。

授業改善のための具体的な方策

グループディスカッションやグループワークを実施し、能動的に考え発表できるようにする。
振り返りシートの「ねらい」を踏まえた感想が記述できるよう、指導する。
授業内での学習ポイントをしっかり理解させ定期考査の学習に生かせるようにする。